



国宝 夢違観音が静岡に。

法隆寺展

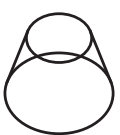
— 聖徳太子と平和への祈り —

2014年6月14日(土) ↓ 7月27日(日)

会期中展示替えあり(7月15日(火)より後期)
休館日/毎週月曜日、7月21日(月・祝)は開館、翌22日(火)休館
開館時間/午前10時〜午後7時(入場は閉館の30分前まで)
主催/静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、法隆寺、静岡第一テレビ、読売新聞社
後援/静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、学術協力/奈良国立博物館 特別協賛/セキスイハイム東海
協賛/あいおいニッセイ同和損保、野崎印刷紙業、ピーバンジョア
問合せ/〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F
TEL.05412731515 www.shm.jp
JR 静岡駅北口より徒歩3分 夜7時まで開館



特別協賛
セキスイハイム東海



静岡市美術館
SHIZUOKA CITY MUSEUM of ART

白鳳のほほえみ



重要文化財 観音菩薩立像 兵庫・鶴林寺蔵



重要文化財 釈迦如来倚像 東京・深大寺蔵



重要文化財 文殊菩薩立像 奈良・法隆寺蔵

法隆寺展

— 聖徳太子と平和への祈り —

聖徳太子ゆかりの法隆寺は七世紀に創建されました。二〇二二年には聖徳太子二四〇〇年御遠忌を迎えます。本展では法隆寺の国宝「観音菩薩立像(夢違観音)」や、

重要文化財「観音菩薩立像」(兵庫・鶴林寺)、重要文化財「釈迦如来倚像」(東京・深大寺)など、白鳳期(七世紀後半〜八世紀初)の仏像や太子信仰に関する宝物によって、太子の「和」の精神をたどります。



④ 聖徳太子(王子像(部分)) 幽竹法眼筆 奈良・法隆寺蔵



⑤ 東方に伺い南老仏と唱える。聖徳太子立像(二歳像) 奈良・法隆寺蔵



(部分)

黒駒に騎乗し富士山に登る。太子二十七歳



重要文化財 聖徳太子孝養像及び二王子・二天像 兵庫・鶴林寺蔵

父・用明天皇の病氣平癒を祈願する。太子十六歳



重要文化財 聖徳太子絵伝 第三幅 遠江法橋筆 大阪・四天王寺蔵

画像提供・奈良国立博物館 ①③⑥⑦(撮影佐々木香穂)、④⑤(撮影森村敬司)

観覧料

観覧料	一般	大高生・70歳以上
当日	1,200円	800円
前売(団体20名以上)	1,000円	600円

中学生以下無料
●障害者手帳等をご持参の方
および介助に必要な方は無料
●リビーター割引 2回目以降
美術館窓口での半券提示で
当日券200円引き

静岡市美術館イベント

1 講演会①「和の精神と日本文化」

日時：6月14日(土) 午後1時30分〜3時(開場1時)
講師：大野玄妙師(法隆寺管長)
会場：当館多目的室
申込締切：5月30日(金)必着
参加料 無料 定員 70名

2 講演会②「聖徳太子の伝記絵について」

日時：7月13日(日) 午後2時〜3時30分(開場1時30分)
講師：北澤菜月氏(奈良国立博物館学芸部研究員)
会場：当館多目的室
申込締切：6月27日(金)必着
参加料 無料 定員 70名

3 講演会③「白鳳のほほえみ

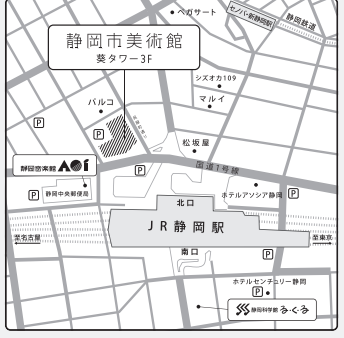
— 飛鳥時代後期の彫刻について —
日時：7月21日(月) 午後2時〜3時30分(開場1時30分)
講師：岩田茂樹氏(奈良国立博物館学芸部上席研究員)
会場：当館多目的室
申込締切：7月4日(金)必着
参加料 無料 定員 70名

4 しずびちびツビプログラム

小さな子ども達のためのアート体験プログラム。お子様をお預かりする間、保護者の方は展覧会を、ご覧下さい。
日時：6月29日(日)
① 午前10時30分〜12時 子どもにつき 1人につき 参加料 500円
② 午後2時〜3時30分
対象：2歳以上の未就学児 各10名
会場：当館ワークショップ必着
申込締切：6月13日(金)必着

下岡進杖

没後百年日本写真の開拓者
6月10日(火)〜7月21日(月)祝
問合せ 静岡市駿河区谷田53-2
(R) 立難駅よりバス又はタクシー
TEL 054-4263157 FAX 054-4263155



静岡市美術館 SHIZUOKA CITY MUSEUM OF ART
〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F
tel. 054-273-1515 (代表) www.shizubi.jp
JR静岡駅北口より徒歩3分 夜7時まで開館